

令和8年度「食品ロス削減PR業務」仕様書

1 委託業務名

令和8年度「食品ロス削減PR業務」

2 目的

本市では、更なるごみの削減に向け、燃やすごみの約4割を占める生ごみ、とりわけ、そのうち約4割を占める、手つかず食品や食べ残しといった「食品ロス」の削減に重点を置いた取組を進めており、平成30年度からは毎年10月を「食品ロス削減月間」と位置付け、当該月間を中心に食品ロス削減に向けた啓発等を実施してきた。

令和3年3月には、「京都市食品ロス削減推進計画」を策定し、令和元年度に6.1万トンある食品ロスを令和12年度には4.0万トンに削減する目標を掲げて、市民、事業者等との協働による一層の食品ロス削減に取り組むこととしており、近年はフードシェアリングアプリの導入促進など、新たな視点も取り入れながら取組を推進している。

本業務は、本市が取り組む「食べ残しゼロ推進店舗認定制度」の運営や「食品ロス削減月間」を中心とした市民への啓発活動等、市民、事業者と一体となって食品ロス削減に向けた機運の醸成を図る取組の企画、運営等についての提案、実施を求めるものである。

3 履行期間

契約締結日から令和9年3月31日（水）まで

4 委託事項（企画提案事項）

委託する内容は、以下の業務とする。

業務の企画、実施に当たり、特に定めるものを除き、本市から委託料以外の費用負担は行わない。また、本市の協力が必要である場合は、その内容を具体的に記載すること。

（1）食品ロス削減月間（10月）における取組

市民に食品ロス削減の取組の実践などを呼びかける企画について、例えば、若者や子育て世帯などをターゲットに、フードシェアリングアプリ等のフードテックを活用した啓発を行うなど、ターゲット設定を行ったうえで、受託者独自の視点で2案以上提案すること。ただし、ホームページ「食べ物の「もったいない！」を探せ！～京都市フードロスチャレンジ～」やインスタグラム「京都市食べキリ宣言」を積極的に活用するなど、本市ホームページ等に誘導できる工夫を提案に含めること。

（2）観光客向けの食べ残しの削減につながるPR展開

観光客（外国人観光客も含む）による食べ残しを削減するため、食品ロス削減につながる行動について、観光客に対し確実に情報が届くような啓発企画を行うこと。

効果的にPRできる啓発方法等を複数提案することとし、提案に当たっては、想定するターゲットやリーチ数も併せて示すこと。

なお、企画に当たっては、令和6年度に制作した以下のポスターデザイン（食べ残し削減を多言語で呼び掛ける内容）やWebページを積極的に活用すること。

ポスター：[manner poster a3.pdf](#)

Webページ：<https://sukkiri-kyoto.com/multilingual>

(3) 「食べ残しゼロ推進店舗」関連業務

「食べ残しゼロ推進店舗」については、飲食店、宿泊施設、食品小売店など約 1,700 店舗が認定を受けている。

ア 「食べ残しゼロ推進店舗」の取組意欲、取組内容の向上

認定店舗では、食べ残しの持ち帰りへの対応や、少量パックなどの食べきれる量での販売など、各店舗が工夫しながら食品ロス削減に取り組んでいる。

そうした取組を促すインセンティブにつながるよう、消費者に PR するとともに、他の店舗へ波及させることで、認定店舗の取組意欲の向上や認定店舗全体の取組の充実・推進を図る。

そのため、ホームページ「京都市食品ロスゼロプロジェクト」やインスタグラム「京都市食べ残し宣言」などの広報媒体を活用した店舗の取組紹介など、効果的な企画・広報を提案すること。ただし、4（1）又は4（2）と連動する一体的な提案も可とする。

イ 新規認定、閉店、登録内容の変更等

食べ残しゼロ推進店舗については、ホームページ「京都市食品ロスゼロプロジェクト」に店舗の情報を掲載している。この登録情報を管理し、新規認定、閉店、登録内容の変更等を速やかに反映し、変更があればその都度、本市へ登録情報データを共有すること。また、新規認定時は認定証を作成のうえ、送付状^{※1}と合わせて封入^{※2}し、店舗に送付等を行うこと。

なお、認定証は既定デザインがあり、デザイン制作は不要。また、認定証用紙（B5 サイズ厚紙）、封筒（角形 2 号）は本市から提供する。

※1 送付状（A4 サイズ 1 枚）は受託者において印刷すること。

※2 認定証のほか、ポスター（A4～A3 サイズを想定）等の啓発物品を同封すること。（認定内容によって封入物が異なる。）

【参考】令和 7 年度実績（2 月末時点）：新規認定 11 件、閉店 48 件、変更等 2 件

ウ 全認定店舗への啓発物送付

食品ロス削減月間（10 月）に合わせて、全ての認定店舗に対して、啓発ポスター等本市の指定する内容物を送付状^{※3}と合わせて封入し、送付すること。

なお、封筒（角形 2 号）は本市から提供するが、本部に一括送付するなど、サイズが大きくなる場合はこの限りではない。

※3 送付状（A4 サイズ両面カラー刷り 3 枚程度を想定。）は受託者において印刷すること。

エ 認定店舗へのメールマガジン配信等

メールアドレスを登録している認定店舗に対して、本市が指定する内容（食品ロス削減やごみ減量に役立つ情報）をメールマガジンとして発信すること。

なお、配信に当たっては画像も添付できる形式とすること。

【参考】

令和 7 年度実績：計 4 回発信（2 月末時点）

(4) 本市ホームページの管理運営、更新

ア ホームページ「京都市食品ロスゼロプロジェクト」の更新、充実

ホームページ「京都市食品ロスゼロプロジェクト」において、本市が進める施策の情報も含めタイムリーに食品ロス関連の最新情報を掲載すること。本ホームページの既存コンテンツについても、食品ロス削減施策の進展、関係法令・制度の改正等に合わせた更新、充実を行うこと。

なお、更新すべきコンテンツ情報は本市から提供する。

イ アクセス数の管理、報告

ホームページ「京都市食品ロスゼロプロジェクト」について、Google アナリティクスなどによりアクセス数を管理できる環境を整え、毎月のアクセス数を翌月10日までに本市へ報告すること。報告内容は、ユーザー（セッション）数、表示回数、新規ユーザー数とする。

なお、「京都市食品ロスゼロプロジェクト」内の「食品ロスを減らそう！お結び広場」のユーザー（セッション）数についても、別途報告すること。

(5) 実施報告書の作成

業務完了後、実施報告書を提出すること（様式不問）。

(6) その他の業務

前述のもののほか、上限価格の範囲内で、食品ロス削減の推進により効果的な業務の提案があれば、提案を妨げない（本市と協議の上で実施する。）。また、本業務の遂行に必要な業務を実施するものとする。

5 物品等の使用

PRに使用する物品等については、本市で以下の啓発物品を十分な量所有しており、本業務において使用する場合は本市から無償で提供するため、優先的に使用すること。その他に独自に調達するPRグッズがあれば提案し、使用方法、仕様、数量を具体的に記載すること。PRグッズは、使い捨てプラスチック製品及びプラスチック製の容器包装は使用しないこと。

<使用可能な本市所有物品（予定）>

- ・ 風呂敷（900mm×900mm）
- ・ 風呂敷（700mm×700mm（2種））
- ・ エコバッグ（380mm×280mm）
- ・ エコバッグ（360mm×370mm）※

※ 京都水族館とのコラボデザインであり、活用機会は協議を要する可能性有。

- ・ ミニボトル（Φ45mm×144mm、ステンレス製、マイボトル絵柄あり）
- ・ ミニボトル（Φ57mm×144mm、ステンレス製、マイボトル絵柄あり）

6 業務実施スケジュール

受託者は、業務開始に先立ち、今後の業務スケジュール表を作成し、京都市 環境政策局 循環型社会推進部 資源循環推進課に届け出て、承認を得るものとする。

7 留意事項

- ・ 業務の実施に当たっては事前に本市職員と協議し、その指示に従うこと。
- ・ 受託者は、業務の全般にわたり業務管理を行い、業務の進捗状況については、本市担当職員との連絡を密にすること。
- ・ 本市において、本業務とは別で食品ロス削減に取り組む民間事業者等と連携した啓発を行う場合がある。当該啓発を、本業務内の企画と連動させる可能性もあるため、その際は本市と受託者の協議により対応するものとする。
- ・ この仕様書に定めのない事項または業務の遂行に当たり疑義が生じた場合は、本市と受託者の協議によりその解決を図るものとし、当該協議が整わないときは、本市の指示するところによる。また、協議の結果を記した書面を本市に提出すること。

8 その他

(1) 個人情報等の保護

受託者は、本委託業務によって知り得た個人情報及び通常秘密とされる企業情報をこの事業の目的以外に使用してはならない。これは委託期間終了後も同様とする。また業務終了時には、取得した個人情報等を全て本市に引き渡すものとする。

(2) 著作権の取扱い

円滑な事業の実施、成果の普及を図るため、本委託業務により制作した印刷物等の著作権等の著作権については、原則として本市に帰属させるものとする。

(3) 成果品

本委託業務内で制作した発行物等については、以下の資料を成果品として引き渡すものとする。

ア 入稿用版下データ（以下の2種類）

Adobe Illustrator（CC 対応）またはこれに準じたソフトウェアに対応するものとする。

(ア) 再編集可能なデータ

(イ) アウトライン化済みのデータ

イ PDF データ

(関連情報)

- ・ 京都市食品ロスゼロプロジェクト

<https://sukkiri-kyoto.com/>

- ・ 食べ物の「もったいない！」を探せ！～京都市フードロスチャレンジ

<https://food-mottainai.city.kyoto.lg.jp/>

- ・ インスタグラム「京都市食ベキリ宣言」

<https://www.instagram.com/>